

8 月 4 週目掲示板の言葉です。

29 日からパラリンピックが始まります。

今日の言葉は、パラリンピックの父であるルートヴィヒ博士の言葉です。

ルートヴィヒ博士は、障害者も残された機能を活用して自立して生きていくべきであるという考えを広めました。

保護され守られて生活することしかできないと思われていた人達を 社会の一員として当たり前で生活していく方向へと導きました。

死別や離別、受験の失敗、病気など喪失体験をしたことのある人が絶望し 2 度と立ち上がることができなくなることこそが真の障害であるとも言っています。

失った事に固執せずに、失った経験があるからこそ、残された自分の可能性に目を向け、今出来ることを精一杯行う。

それが出来るのは、自分の残されたものに目を向けて信じてもらった経験のある人のような気がします。

大切なものを失い、それでも残されたものに目を向けて生きている人は、喪失体験をもった人をも温かく包み込んでくれるのかもしれません。

（言葉のチョイスと解説）「なまくら坊主」